

| | | | | |
|------|-----|----|----|--------|
| 日程 | 科目 | 学部 | 学科 | 専攻・コース |
| Ⅱ期 | 日本語 | | | |
| 受験番号 | | 氏名 | | |
| | | | | 採点 |

Ⅰ 次の（ ）の中からもっとも適切なものを選び、○で囲みなさい。

- (1) この坂道（に で を から）上っていくと、左側に病院があります。
- (2) 研究テーマ（について によって に対して にとって）指導教員に相談した。
- (3) クラスのみんなが見える（ために ように とおりに うちに）ホワイトボードに名前を大きく書いた。
- (4) 1階の掲示板に、試験の日程がはって（おきました ありました いました しまいました）。
- (5) 窓を開けたら、部屋の中に小さな虫が（飛びついて 飛びこんで 飛びだして 飛びたって）きた。
- (6) 服を買うかどうか迷った（あげく とおり うえで くせに）、結局何も買わずに店を出た。
- (7) 私の会社の規則では、社員証を首にかける（ことにして ようにして ようになって ことになって）いる。
- (8) 経済状況が悪化したために、失業者の数が（増えざるをえない 増えかねる 増えつつある 増えるべきだ）。
- (9) AI（人工知能）の技術が（上達 前進 成長 進歩）して、生活がとても便利になった。
- (10) 高速道路の（最上 最速 最高 最大）速度は法律で決められている。
- (11) レポートの締め切りは（きっと たしか もちろん どうやら）来週の月曜日だったと思います。
- (12) 私は腕が長いので、（ぴったり すっきり そっくり しっかり）合うサイズの服がなかなか見つからない。
- (13) Tシャツの裏と表を間違えて着ているなんて、彼女は本当に（そそっかしい ずうずうしい はなはだしい あつかましい）。
- (14) 虫歯があるのに、鈴木さんは歯医者に行くのを（困っている いやがっている にくんでいる 苦しんでいる）。
- (15) レポートに数字の（エラー ミス アクシデント トラブル）があったので、もう一度書き直した。
- (16) くわしい内容は、市役所のホームページを（拝見して お見えになって お見せして ご覧になって）ください。

Ⅱ 次の文の ★ に入るもっとも適切なものをア～エから一つ選び（ ）の中に書きなさい。

- (1) 昨日見た映画は _____ ★ _____ 話だった。 ()
ア ほど イ 出る ウ 涙が エ 感動する
- (2) K大学では、毎年、音楽祭やスポーツ大会 _____ ★ _____ います。 ()
ア イベント イ 行われて ウ といった エ が
- (3) 敬語どころか _____ ★ _____ 増えてきているようだ。 ()
ア 新入社員が イ あいさつ ウ できない エ さえ
- (4) 本当にいい大学かどうかは _____ ★ _____ 。 ()
ア 通ってみたい イ 自分で ウ わからない エ ことには

| 日程 | 科目 | 学部 | 学科 | 専攻・コース |
|------|-----|----|----|--------|
| Ⅱ期 | 日本語 | | | |
| 受験番号 | | 氏名 | | |
| | | | | 採点 |

感を高めるにはどうしたらよいかを検討されたりもしている。

自己肯定感の低い先生たちが、何とかして生徒たちの自己肯定感を高める役割を担わされ、どうしたらよいかを頭を悩ませている。何だか①滑稽ではないか。

そもそも世間で言われているような意味での自己肯定感の高い人物が、この日本の社会にどれだけのいるのだろうか。さらに言えば、そのような意味での②自己肯定感の高い人は、模範^{もはん}にすべき人物なのだろうか。

自己肯定感という言葉が世間に広まったのは、ここ十数年のことであって、それ以前はそのような言葉はほとんど使われていなかった。自己肯定感を高めないといけないというようなf圧力もなかった。

ところが、教育界に自己肯定感という言葉が浸透し、生徒の自己肯定感を高めなければといった圧力が先生に重くのしかかるようになった。③それによって先生と生徒の関係に好ましい変化が生じたのだろうか。

僕は、むしろ先生と生徒の間に溝^{みぞ}ができてしまい、心が触れ合いにくくなっているのではないかと思えてならない。生徒の気持ちを傷つけてはいけない、生徒をほめて自己肯定感を高めてあげなければならないなどと言われるため、先生は生徒に非常に気をつかうようになった。

気をつかいすぎる関係って、何だか淋^{さび}しくないだろうか。そんなふうに気をつけていて、心の触れ合いがg期待できるだろうか。ホンネ（本音）を出し合えるだろうか。

若者の側も、「自己肯定感を高めなければ」といった社会の空気の圧力によって苦しめられている。

ある中学生は、自己肯定感をめぐる心の中の葛藤^{かっとう}について、次のように語る。

「先生からは、あなたはやるべきことをちゃんとやっているんだから、自分にもっと自信をもつようにって言われるんですけど、宿題や当番をちゃんとやるのは当たり前だし、それで自信をもてって言われてもh説得力ないって言うか……④自信なんてもてませんよ」

別の中学生も、つぎのように葛藤に満ちた胸の内を吐露する^{とろ}。

「日本の若者は自己肯定感が低いから、海外の人たちを見習ってもっと自己肯定感を高めようって言われる。でも、テレビとかでアメリカの自分と同じような歳^{とし}の生徒がまるで大人みたいな堂々とした態度で意見を言ってるのを見ると、とても自分には無理って思ってしまう。自己肯定感を高めるようにって言われるたびに、それがi難しい自分はダメなのかなあって落ち込んでしまう」

このように、自分に自信がもてないというのは、けっしてj珍しいことではない。それなのに自己肯定感を高めるように言われることで、「やっぱり自己肯定感の低い自分はダメなんだ」とますます自信をなくす者も出てくる。

「私は、やっぱり自己肯定感は低いと思う。周りの同級生たちと比べても自信がもてる感じはないし、何かにつけて自分はまだまだ未熟^{みじく}でダメだなあって思う。何とか自己肯定感を高めたいって思うんだけど、どうしたらいいのかわからない」と途方に暮れる^{とほうく}者もいる。

そんなときに「こうすれば自己肯定感が高まる」「自己肯定感を高めるコツ」などといった本やネット記事の見出しを見ると、やはり気になってしまう。でも、多くの場合、そのようなものを読んでも自己肯定感が高まることはない。

実際、「こんな表面的なテクニックで、ほんとうに自己肯定感が高まるんですか？ どうも怪しいって感じちゃうんですけど」といった疑問をぶつけられたことがある。そうした疑問をもつのは、とても大切なことだと思う。単純に信じ込むよりも、

| | | | | |
|------|-----|----|----|--------|
| 日程 | 科目 | 学部 | 学科 | 専攻・コース |
| Ⅱ期 | 日本語 | | | |
| 受験番号 | | 氏名 | | |
| | | | | 採点 |

ずっと真の自己肯定感に近いところにいるのではないか。そもそもそのような自己暗示的なテクニックで一時的に自己肯定感が得られたとしても、すぐに元に戻ってしまうはずだ。

自分は自己肯定感が低いということを認めつつも、その自己肯定感を無理やり高める必要があるのかといった疑問を抱く者もいる。

「周りを見てると、みんなそんなに自己肯定感が高いとも思えない。それでも日常生活はとくに問題なく過ごしているし、ほんとに自己肯定感を高くしないといけないのかなって思う」

「自分に自信があるとか、このままの自分に満足なんて、とても言えない。いつも不安でいっぱいという感じがある。でも、それってダメなんだろうか。周りには自信満々なタイプもいるけど、何だか偉そうにしてて、あんなふうになりたいとは思わない。先生は自己肯定感を高めるようにって言うけど、ああいう鼻につく連中のようにするのがいいって思っているのだろうか」

このように自己肯定感を高めるべきという風潮に対して疑問をもつのは、むしろ健全なことだと思う。

(榎本博明『自己肯定感が高くないとダメなのか』)

- 1 自己肯定感……ありのままの自分を受け入れて、「自分はこれでいい」「自分には価値がある」と思える気持ちのこと。
- 2 模範……見習うべき手本。まねをするとよいお手本になる人や行動のこと。
- 3 葛藤……気持ちや考えが心の中でぶつかって、どうしたらいいか迷うこと。
- 4 吐露する……心に思っていることを隠せずに言うこと。
- 5 途方に暮れる……どうしたらよいかわからなくて困ること。

問1 波線部 a～j の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- a 記事 () b 気配 () c 役割 ()
 d 悩ませて () e 世間 () f 圧力 ()
 g 期待 () h 説得力 () i 難しい ()
 j 珍しい ()

問2 空欄 X、Y に入る語として、もっとも適切なものを次のア～カからそれぞれ選びなさい。

ア たとえば イ それとも ウ そこで エ つまり オ でも カ なぜなら

| | |
|---|---|
| X | Y |
|---|---|

| 日程 | 科目 | 学部 | 学科 | 専攻・コース |
|------|-----|----|----|--------|
| Ⅱ期 | 日本語 | | | |
| 受験番号 | | 氏名 | | |
| | | | | 採点 |

問3 下線部①「滑稽」の意味としてもっとも適切なものを次のア～エからひとつ選びなさい。

- ア とても大きな問題である
- イ ばかばかしくておかしい
- ウ すじみちが通っていない
- エ 頭の回転が遅く考えが浅い

問4 下線部②「自己肯定感の高い人は、模範にすべき人物なのだろうか」という文で筆者が言おうとしている内容としてもっとも適切なものを次のア～エからひとつ選びなさい。

- ア 自己肯定感の高い人は、模範とすべき人物にちがいない
- イ 自己肯定感の高い人は、模範にすべき人物ではない
- ウ 自己肯定感の高い人が模範にすべき人物であることはあまりない
- エ 自己肯定感が高い人が必ずしも模範にすべき人物であるとはかぎらない

問5 下線部③「それによって先生と生徒の関係に好ましい変化が生じたのだろうか」とあるが、先生と生徒の関係はどのように変化したか。文中のことばを使って答えなさい。

問6 下線部④「自信なんてもてませんよ」とあるが、この中学生はなぜ自信がもてないのか、次の空欄に適切な表現をいれなさい。

と考えているから

問7 次のア～エのうち、本文の内容とあっているものには○、そうでないものには×をつけなさい。

- ア 先生は生徒をほめるようになったが、ほめ方がよくないため、生徒の自己肯定感は高くなっていない。()
- イ 自分に自信がもてず、自己肯定感を高めることできないために、ますます自信をなくす生徒もいる。()
- ウ 本やネットの情報を参考にすることは、自己肯定感を高めるために、高い効果を得ることができる。()
- エ 偉そうに見えるため、自己肯定感が高く、自信満々なタイプの人にはなりたくないという生徒もいる。()